

プロジェクト **ASAF 対応**項目 **2014 年 12 月の ASAF 会議への対応****2014 年 12 月の ASAF 会議における議題**

1. 2014 年 12 月 4 日、5 日にロンドンで開催される ASAF 会議における議題は以下のとおり予定されている。

議題	時間
開示に関する取組み	
開示原則-キャッシュ・フロー計算書	1 時間
排出量取引	45 分
料金規制	1 時間
リース	1 時間
退職後給付	1 時間
マクロヘッジ	90 分
持分法	1 時間
外貨換算	1 時間
インフレ会計	1 時間
保険契約	30 分
アジェンダ協議 2015	1 時間

2014 年 12 月の ASAF 会議への対応

2. 上記の議題のうち、開示に関する取組み（開示原則-キャッシュ・フロー計算書）及び外貨換算については、10 月 22 日開催の専門委員会において審議を行った。また、キャッシュ・フロー計算書については、英国の財務報告評議会（FRC）スタッフにより作成されたペーパー「開示に関する取組み（開示原則-キャッシュ・フロー計算書）」について、本委員会においても審議を行っている。
3. 本日の企業会計基準委員会では、前回の委員会に引き続き、開示に関する取組み（開示原則-キャッシュ・フロー計算書）に関する ASAF 会議における発言案の審議を行い（審議事項(1)-2）、また、アジェンダ協議 2015（審議事項(1)-3）についても審議を行う。
4. 11 月 17 日開催の ASAF 対応専門委員会では、退職後給付について審議を行ったが、

このテーマに関しては、時間の関係上、12月1日開催予定の第301回企業会計基準委員会で審議を行う予定である。

5. 料金規制については、現在、本委員会においてディスカッション・ペーパー「料金規制の財務上の影響の報告」に対するコメント対応において検討を行っている。
6. リースについては、2014年10月のIASBボード会議における議論と暫定決定等について説明される予定である。リースに関しては前回のASAF会議において意見発信したところであり、さらなる意見発信の必要性を検討中であり、本委員会では取り上げないこととする。
7. 保険契約については、IASBにおける検討状況について、保険契約専門委員会において議論を行っていることから、本委員会では取り上げないこととする。また、マクロヘッジについては、10月23日にIASBに提出したコメントレターを踏まえて対応を行うことを予定しており、本委員会では取り上げないこととする。
8. 持分法については、2014年5月にASBJにおいて市場関係者に対するアンケート調査を実施しており、今回のASAF会議において、当該アンケート調査で聞かれた意見について説明を行うことを予定している。そのほか、韓国の会計基準設定主体（KASB）から、2014年9月に公表されたディスカッション・ペーパーについて説明が行われる予定であるが、時間の関係上、今回は本委員会では取り上げないこととする。
9. 排出量取引については、リサーチの最も初期の段階であり、本委員会では取り上げないこととする。
10. インフレ会計については、現状では、我が国に与える影響は必ずしも大きいといえないことから、本委員会では取り上げないこととする。

以上